

民報 藤島

2020年12月6日

第1277号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一（宝徳）
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
（月200円程度）
11月 32人 48,610円
10月 48人 57,786円

市農業委員会第1回総会開く 会長に渡部長和氏（東岩本）を再任

鶴岡市農業委員会（委員20人）は、改選に伴う第1回総会を26日、藤島庁舎で開き、会長に渡部長和氏（70・東岩本）を再任しました。

農業委員会は、農地の売買や貸借の許可、農地転用への意見具申、遊休農地の調査・指導などを中心に、農地についての事務を行う行政委員会として市町村に設置されています。任期は3年。

また、主に合議体としての意思決定を行う農業委員とは別に、担当区域における農地等の利用の最適化の推進

公選制から任命制へ

平成27（2015）年の農協「改革」関連法の 일환として、農業委員会法が「改正」さ

れ、これまでの公選制を廃止して市町村長による任命制が導入され、今回が2期目です。農業委員の過半数は原則として、認定農業者でなければならぬ、とされました。

鶴岡市農業委員会委員		
1	佐藤康弘	さとうやすひろ 新海町
2	坂東陽水	ばんどうようすい 勝福寺
3	吉住喜之	よしずみよしゆき 白山
4	土岐善久	ときよしひさ 大広
5	石塚治己	いしづか はるき 三瀬
6	大池典子	おおいけのりこ 淀川町
7	荻原優太	おぎわら ゆうた 大山
8	阿部元成	あべもと しげ 面野山
9	高橋好博	たかはし よしひろ 和名川
10	大沼恒司	おおぬま こうし 長沼宮前
11	石井光明	いしい みつあき 添川
12	工藤久子	くどう ひさこ 藤島
13	新館 登	しんたて のぼる 羽黒町川代
14	金野匡良	こんの まさよし 羽黒町猪俣新田
15	丸山成章	まるやま なりあき たら のき代
16	佐久間豊	さくま ゆたか 西荒屋
17	小林義一	こばやし よしかず 黒川成沢
18	佐藤みほ	さとう みほ 熊出
19	渡部長和	わたなべ たけかず 東岩本
20	五十嵐覚	いがらし さとる 関川

鶴岡市農地利用最適化推進委員		
1	須田進二	すだしんじ 中京田
2	原田政幸	はらだまさゆき 福田
3	斎藤潤子	さいとうじゅんこ 新海町
4	斎藤健一	さいとうけんいち 神明町
5	阿部 隆	あべたかし 谷定
6	田澤幸弘	たざわゆきひろ 下清水
7	榎本 勝	えのもとまさる 少連寺
8	長谷川浩之	はせがわひろゆき 水沢
9	菊地勝三	きくちかつみ 三瀬
10	野村 仁	のむらひとし 平成町
11	佐藤泰仁	さとうたいじん 馬町
12	佐藤克久	さとうかつひさ 茨新田
13	本間 誠	ほんままこと 下川
14	森 秀弘	もりしゅうひろ 長沼宮東
15	石川 守	いしかわまもる 野田目
16	斎藤 功	さいとうこう 八色木
17	井上佳奈子	いのうえかなこ 渡前
18	碓氷 伸	うすいしん 羽黒町手向
19	斎藤 力	さいとうちから 羽黒町川代
20	高橋 聡	たかはしとし 羽黒町町屋
21	丸山伸一	まるやましんいち 羽黒町荒川
22	高橋文雄	たかはしふみお 三千刈
23	前田 浩	まえたこう 丸岡
24	佐々木貢昌	ささきみつあき 田代
25	鈴木 聡	すずきさとし 松根
26	伊藤由紀子	いとうゆきこ 熊出
27	亀井龍夫	かめいたつお 倉沢
28	清野吉喜	せいのよしき 越中山
29	五十嵐一浩	いがらしかずひろ 一霞
30	佐藤宣夫	さとうのぶお 木野俣
31	伊藤 貢	いとうみつぐ 越沢

鶴岡市農業委員会 役職		
会長	渡部長和	東岩本
会長職務代理者	石塚治己	三瀬
東部農地部会長	佐久間豊	西荒屋
東部農地部会長職務代理者	石井光明	添川
西部農地部会長	佐藤康弘	新海町
西部農地部会長職務代理者	五十嵐覚	関川
営農・担い手専門委員長	新館 登	羽黒町川代
営農・担い手専門副委員長	佐藤克久	茨新田
食育・地産地消専門委員長	荻原優太	大山
食育・地産地消専門副委員長	森 秀弘	長沼
広報編集委員長	吉住喜之	白山
広報編集副委員長	石井光明	添川

また、法律の目的から「農民の地位向上」が外され、「業務」の項目から「意見の公表、建議」を削除しました。農業委員会の農民の代表機関としての権限を奪い、農地等の利用の最適化（担い手への農地利用の集積・集約

化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進のみを行う行政機関とされました。改正前の市農業委員は、農業者の代表として選挙によって選ばれる委員37人と選任委員8人の計45人でした。



藤島農産物元気食楽部が企画した「ふじしま元気米」が、11月28日からAコープ藤島店で販売が始まりました。藤島地域の生産者10人が栽培した「つや姫」と「はえぬぎ」です。販売初日には店頭につや姫レディーが登場しPR。Aコープ藤島店によると、この週末の販売は大変好評で、遠方の親類に送るなど贈答用としての利用が多かったとのこと。

山旅メモ

平和発進の島・花の浮島

礼文島

ROUSAN 鶴岡会員

梅本幸巳

次に向かったのは、隣の礼文島である。鴨泊港からフェリーに乗り香深港に着いた。

■花の浮島

本州では2000m以上の高山でしか見ることができない高山植物が、礼文島では海岸線から咲いている。

海岸沖一帯は長さ10mもある利尻昆布（超高級品）畑で、小舟を浮かべ刈取りしていた。

宿は、質素な地元のみ宿である。朝宿を出て、すぐバスに乗り海岸線を走る。最初に向かったのは、



る植物園だ。

■高山植物園

季節ごとに見事な高山植物が咲いている

約2万株あり、季節順に咲き誇る。ビジターセンターも併設されていて、高山植物についての資料を展示していた。離れた所のレプンアツモリソウ群生地には監視塔があり、残念ながら行止まりになっていた。

■スコトン岬



日本最北の有人島、礼文島のいちばん北にある岬（ちなみに日本最北端は稚内・宗谷

つていた。

■平和行進出発の地

私は、かつて原水爆禁止田川地区協議会で活動したことがあり、礼文島は原水爆禁止平和行進の出発点で特別な思いがある。20数年前、田川地区協議会理事長の砂田栄吉さん（※）が、山形県人として初めて平和通し行進をされた。礼文島を出発し、北海道・東北・関東・東京と全コースを歩き通したのだった。田川地区を通過したときは、各市町村で盛大に歓迎集会を開催した。

この地を訪れて、改めてこんな遠くから歩き通したのかと、砂田さんの核兵器禁止の熱き思いに心打たれた。礼文島は、「花と平和の島」だと改めて感じる旅だった。



世界の国々

ドミニカ共和国

最初にヨーロッパ人が定住

青山崇

ドミニカ共和国は、米州で最初にヨーロッパ人が恒久的に定住した土地であり、その後のスペインの侵略拠点となった。



ゆえにサント・ドミンゴは米州で最も早い1496年に建設された植民都市であり、そ

れゆえ米州で初の大学、大聖堂、要塞が建設された。小アンティル諸島のドミニカ島にあるドミニカ国と区別するため「共和国」をつけて呼ばれる。面積は九州と高知を合わせたほどで、人口は1090万である。アメリカ大陸最初の植民地をつくり、鉱山経営を行ったが、先住

民労働者を酷使したため疫病が大流行し殆ど死亡した。

その後いくつかの抗争が繰り返されたが、1865年スペインから独立した。

野球が国技のようなもので非常に盛んである。アメリカメジャーに70余名が在籍している。しかし国内にプロリーグはない。

このアカデミーに属する45チームが6地区に分かれて行うリーグ戦がルーキー級に位置付けられるドミニカン・サマー・リーグである。



心臓を手術

俺が良く言われるのは「おめーだば どごもわりどごねぐで、薬など飲んでめーやー」だ。しかし、そこは人並みなのだ。だから、老人クラブの旅行などでは「皆さんお薬タイムですヨ」なんて朝食後にいうんだぜ。

▲話は一寸変わるが、ある夏の日、畑で、「オメエの爺様、この頃畑さ見えねえでね。」と言われて「んだ 今暑さげ一寸涼しい所さ行ったもの」と言ったら「婆様は」というので「婆様 さわぎ好きでねーさげ 家さ居ったで」といったんだ。その後何日か過ぎて大きな声で言われたもんだ。「爺様 入院したって言うけつちゃ」と。

▲この調子で俺のこの頃を言うと「GOTOトラベル使わねで一寸泊りがけ行ってきた」

る。

ここではドミニカだけでなく、中南米を中心に世界各地からスカウトされた選手たちが、各球団の育成方針に従って徹底的に野球の基礎を叩きこまれる。

植民地時代はサント・ドミンゴと呼ばれており、スペイン人ハイチ共和国など様々な名前の変遷を経て、1844年のハイチからの独立後、1865年のスペインからの最終的な独立時に現在の名称に定まった。

「高くねーけがや」「普通たる」。これで話が終われば前の話と同じになるが「何観て来たや」と聞かれれば、「観て来たなテネ、診て貰ったなだ」となるんだ。実は、協立病院に入院したのだ。4つ泊まって30日10時過ぎ家に帰り、これを書いている。

▲不整脈は、血の固まり「血栓」が出来る恐れがあるから、その原因を無くする「カテーテル アブレーション」という治療をしたのだ。カテーテルという針金を足の付け根から心臓まで通して、不正な心拍を発する箇所を焼灼するというもの。

▲麻酔が効いたのが1時半ごろで部屋に戻ったのが5時過ぎということから、4時間近い手術だったんだな。病院では寝るのが仕事。ゆつくり寝たから普通に飲み食いして良いんだとや。大したもんだぜ。今の医学は。（石川）

※故・砂田栄吉氏は、来年2月の三川町議選に共産党から立候補予定の砂田茂氏の父です。